

(別添 3)

【大口町】
校務 DX 計画

<はじめに>

本計画は GIGA スクール構想のもと、教育現場のデジタル化を推進し、教職員の業務効率化および教育活動の質の向上を目指すために策定されるものです。「GIGA スクール構想の下での校務の DX 化チェックリスト」34 項目において本町の現状および以下 4 点の課題を踏まえ、具体的な施策を提案します。

<検討課題>

課題 1: 教職員の書類提出のペーパーレス化

○現状と課題

現在教職員間の連絡はクラウドツール利用が増えてきているが、まだ一部教職員が提出する書類の多くが紙媒体で行われており、クラウドツールを活用したデジタル化が進んでいません。

○施策

職員会議資料や研修資料を慣例で印刷配布するケースや、クラウドツール利用で提出できる書類を印刷物で求めているケースが散見される。一層のクラウドツール活用を推進する

○手法

Google フォームや Microsoft Forms などの活用。

課題 2: FAX・押印の廃止

○現状と課題

FAX および押印の利用が依然として行われており、クラウドツールの活用促進が不十分です。

○施策

「学校等の FAX でのやり取りの慣行・学校現場に関連する押印ルールの見直しについて」を徹底し、FAX・押印を廃止する方針を全教職員に通知。

○手法:

クラウドツールの利用マニュアルを配布し、実践的な研修を実施。

課題 3: クラウド環境の整備とゼロトラスト導入

○現状と課題

教職員が校務用端末を学校外で安全に使用できるクラウド環境が整備されていません。

○施策・目標

次回校務パソコン・サーバーリプレースの予定である令和 9 年（2027 年）度に、教職員が校務用端末を安全に学校外で使用できる環境を構築の検討を行う。

○手法・必要なリソース

- ・VPN の代替としてゼロトラストネットワークを導入。
- ・クラウドサーバー導入の検討
- ・ネットワーク機器、専門技術者の確保。

課題 4: 教育情報セキュリティポリシーの見直し

○現状と課題

教育委員会独自の教育情報セキュリティポリシーが、現場のニーズや技術進展に柔軟に対応できる仕組みが整備されていません。

○施策・目標

1 年ごとの改定プロセスを運用開始。

○手法

教育委員会内にセキュリティポリシー見直しチームを設置。

教職員と教育委員会職員にて意見交換を行い定期的にセキュリティポリシーの見直しを行う。

<期待される効果>

- ・教職員の業務負担軽減: デジタル化により、書類作成や提出にかかる時間を大幅に削減。
- ・セキュリティ向上: ゼロトラストの導入により、情報漏洩リスクを低減。
- ・教育活動の質の向上: 教職員が業務効率化で確保した時間を教育活動に振り向けることが可能。